

本

## 川柳エッセイ

このたび、渋谷支部会員、川崎  
インターネット㈱の三木秀治氏が

川柳エッセイを出版された。

三木氏は延べ一〇年に渡り川柳エッセイという分野を切り開いてきた。川柳エッセイとは五七五で終わる川柳に数行、著者の思いを加え「ああなるほどそういうことか」と合点が行く仕組みのエッセイ集だ。内容はコミカルかつシニカルでワラエル。

三木氏は本の中で本来の経営者や新入社員、果ては若い女性になったりと奔放かつ自由である。読んでいて楽しい。五月二五日北部協主催の池袋ピジカルランチ講演日に発刊された本はデザインも洒落ている。

「普段もこの本くらい自由に語ればもっと人が集まったのにな」「三木さんとは思えないほど良かった」との風変わりな賛



辞が寄せられ大好評だった。普段の三木さんをよく知らないのでもこのエッセイこそが三木さんの姿ではないかと感じましたが、さて。あらためて三木流川柳のいくつかを紹介いたします。

非正規だ

返す当てなし 奨学金

夜桜に

デート誘って 花と散る

酒の席

口説く力を 営業に

(広報部副部長 丸山牧夫)

「川柳エッセイ」

著者 三木秀治

印刷・製本 尚京文社

定価 1000円＋税

問い合わせは

川崎インターネット㈱

044-850-4600

miki@kine1.co.jp